

AudioComm®

ポータブルCDプレーヤー

取扱説明書

保証書付

型番: CDP-280N-W 品番: 07-8882
CDP-280N-K 07-8883



このたびは、**AudioComm®** ポータブルCDプレーヤーを
お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。“この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。”なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

目次

免責事項	1	ホールド機能について	7
安全上のご注意	1~3	ESP機能について	7
CDについて	4	CDを聴くときは	8~12
各部の名称	5	お手入れのしかた	12
乾電池の入れかた	6	故障かなと思ったら	13
ACアダプター(別売)を使うときは	6	主な仕様	13
電源のオン・オフについて	6	保証書とアフターサービスについて	14
イヤホンの接続方法	7	保証書	裏表紙

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取扱を誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

	危険 この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
	警告 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	注意 この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

	△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。(左図の場合は「感電注意」が描かれています。)
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。(左図の場合は「分解禁止」が描かれています。)
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。(左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。)

警告

	使用禁止 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに電源を切り、乾電池を取り外す AC電源にて使用しているときはACアダプターを家庭用コンセントから抜く ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。		禁止 ピックアップレンズを覗き込まない ●レーザー光が目当たると、視力障害を起こすことがあります。
	使用禁止 万一、内部に水や異物などが入った場合は、使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。		適合品を使う ACアダプターは必ず本機の仕様に適した製品を使う ●破損や火傷、発煙、火災の原因となります。
	乾電池に注意 乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が乾電池を誤って飲み込むことがないようにする。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談する ●乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。		禁止 ACアダプターは交流100ボルト以外の電圧で使用しない。また、自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない ●製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となります。
	分解禁止 分解、修理、改造しない ●火災・感電の原因となります。		禁止 雷が鳴りだしたら、本機やACアダプターに触れない ●感電の原因になります。
	禁止 車やオートバイ、自転車などの運転中は使用しない ●交通事故の原因になります。また歩きながら使用するときも、他の交通の妨げにならないよう十分にご注意ください。		接続場所を選ぶ ACアダプターはすぐに手が届く位置にある家庭用コンセントに接続する ●手が届きにくい場所にあると、異常があったときに対応が遅れるおそれがあります。 ●本機の電源を切っただけでは、完全に電力を遮断できません。異常が生じたときには、すぐにACアダプターを家庭用コンセントから抜いてください。
	禁止 台所や浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しない ●火災や感電の危険があります。		禁止 本機やACアダプターを布団などで覆わない ●熱がこもってケースが変形したり、火災の原因になることがあります。
	禁止 海外では使用しない ●本機は日本国内でのみ使用可能です。		禁止 本機やACアダプターの上に重いものをのせたり、ACアダプターのコードの上に本機をのせない ●本機が破損したり、コードに傷がついて火災・感電の原因となります。

注意

	禁止 ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所、振動の多いところに置かない ●落下による故障やけがの原因となることがあります。		禁止 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない ●本体に悪い影響を与え故障の原因となることがあります。
--	---	--	---

注意

	ほごりの多い場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。ほごりがつかないように、ディスクの出し入れ時以外は必ずCDドアを閉じてください。		電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニターなど)に近づけない ●電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。
	乾電池を挿入するときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示通り正しく入れる ●間違えると、乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。		お子様がCDドア内に手を入れないように注意する ●けがの原因となることがあります。
	指定以外の乾電池は使用しない。古い乾電池と新しい乾電池、種類の異なる乾電池を一緒に使わない ●乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。		お手入れの際には安全のため電源を切り、乾電池を取り外す。ACアダプターも家庭用コンセントから抜く ●感電の原因となることがあります。
	落としたり、本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない ●CDが傷ついたり、本機の故障や破損の原因になることがあります。		長期間本機を使わないときは、安全のため必ず乾電池を取り外す。ACアダプター接続時はACアダプターも取り外す ●火災・液もれの原因となることがあります。
	はじめから音量を上げすぎない ●突然大きな音が出て、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。		ACアダプターとコンセントの接続部を定期的に掃除する ●ACアダプターとコンセントの間にほごりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的に接続部のほごりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。
	長時間、大音量で聴き続けけない ●周囲の迷惑になったり、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。		ACアダプターとコンセントの接続部を定期的に掃除する ●ACアダプターとコンセントの間にほごりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的に接続部のほごりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。
	ピックアップレンズに触らない ●再生不良や故障の原因となることがあります。		掃除をする

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

警告

- ・火中への投入、加熱、分解をしない
- ・取り外した乾電池を幼児に触らせない
- ・ショートさせない

注意

- ・⊕⊖の表示通りに入れる
- ・指定以外の乾電池を入れない
- ・使用推奨期限内の乾電池を使用する
- ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない
- ・使い切った乾電池はすぐに取り出す
- ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

- 万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- 万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
- 使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときはそれに従って廃棄してください。

CDについて

CD規格の注意事項

- ディスクに  のマークが入ったものをご使用ください。
- 現在発売されている「コピーコントロールCD」と呼ばれる著作権保護技術付音楽ディスクは、コンパクトディスク(CD)規格に準拠しない特殊ディスクであり、本製品における再生にあたっては、動作や音質の保証は致しかねます。音楽ディスクパッケージの表示をよくお読みください。
- 本機はCD-R / CD-RWの再生に対応していますが、以下の点をご注意ください。
 - ・CD-R / CD-RWディスク、レコーダー、書き込みソフトウェアの種類・状態によっては、再生できなったり、ノイズや音飛びが生じる場合があります。
 - ・ファイナライズ処理がなされていないディスクは再生できません。
 - ・本機ではMP3やWMAなど、圧縮されたフォーマットの音楽ディスクの再生はできません。

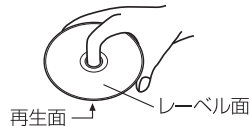


結露について

寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、くもったりする結露現象が起こります。この状態で使用すると、正しく動作しないことがあります。このようなときはディスクを取り出して数時間放置してください。結露が取り除かれて正常に動作するようになります。

ディスク取扱上の注意点

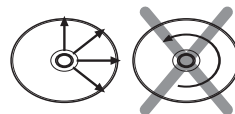
- ◆再生面に触れないようにしてください。



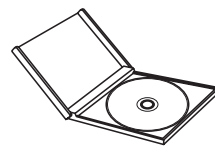
- ◆再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



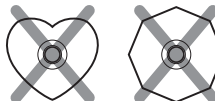
- ◆ディスクに指紋や汚れがついたときは、柔らかい布などで放射状に軽く拭き取ってください。



- ◆長い時間使用しないときは、ディスクを本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。



- ◆ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは、使用しないでください。機器の故障の原因となります。

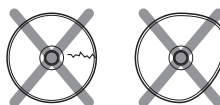


DualDiscについてのご注意

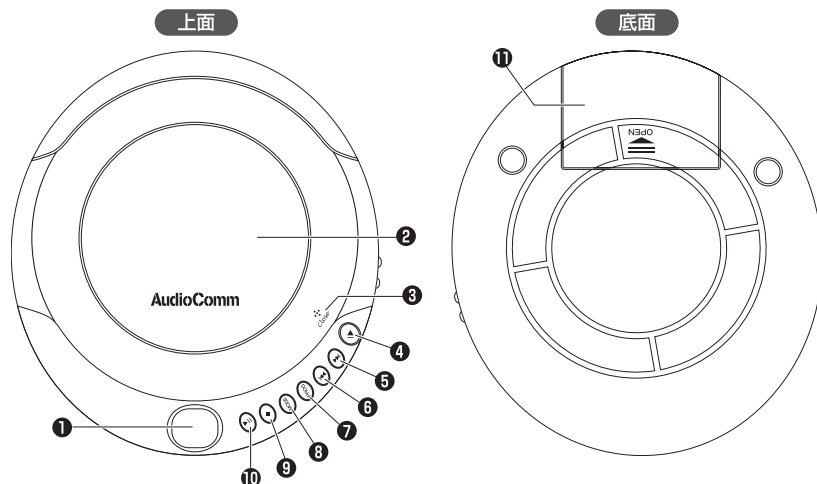
DualDiscとはDVD規格に準拠した映像用と音楽用のディスクを組み合わせた両面ディスクです。このDualDiscはコンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

ディスク使用上の注意点

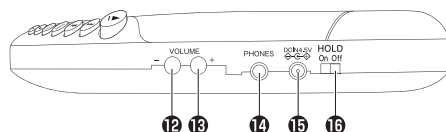
再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびやそりのあるディスク、割れたり変形したディスク、テープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使わないでください。



各部の名称



右側面



① ディスプレイ

② CDドア

③ CDドア閉部

④ CDドア開ボタン

⑤ スキップボタン(▶▶)

⑥ スキップボタン(◀◀)

⑦ プログラムボタン

⑧ モードボタン

⑨ 停止ボタン

⑩ 再生/一時停止ボタン

⑪ 電池ボックスカバー

⑫ 音量ボタン(-)

⑬ 音量ボタン(+)

⑭ イヤホンジャック

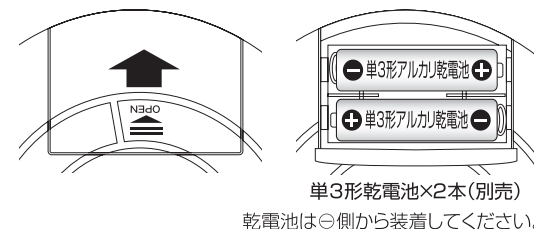
⑮ DC IN端子

⑯ ホールドスイッチ

乾電池の入れかた

- 1 電池ボックスカバーの を押しながら、矢印の方向にスライドさせて開けます。
- 2 単3形アルカリ乾電池×2本(別売)を、 の向きに注意しながら図の通りに正しく入れます。コイルバネのあるほうがです。側から先に装着してください。
- 3 電池ボックスカバーを元通りにしっかりと閉めます。

底面

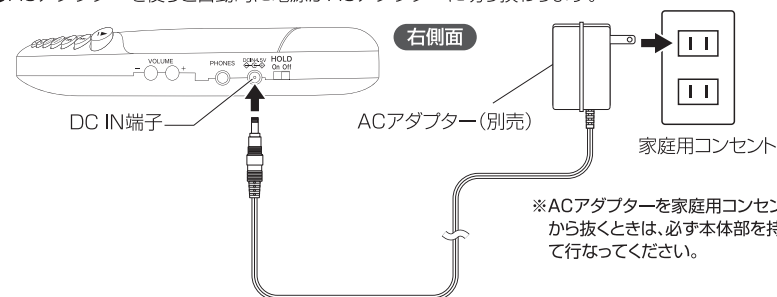


電池残量が少なくなると、ディスプレイに マークが表示されます。早めに新しい乾電池に交換してください。



ACアダプター(別売)を使うときは

- ACアダプター(別売)を使うと長時間のリスニング時に便利です。
- ACアダプターを使うと自動的に電源がACアダプターに切り換わります。



※ACアダプターを家庭用コンセントから抜くときは、必ず本体部を持って行ってください。

ACアダプターは市販のDC4.5V 500mA (外径3.5mm 内径1.3mm)をご使用ください。それ以外の規格の製品は使わないでください。

電源のオン・オフについて

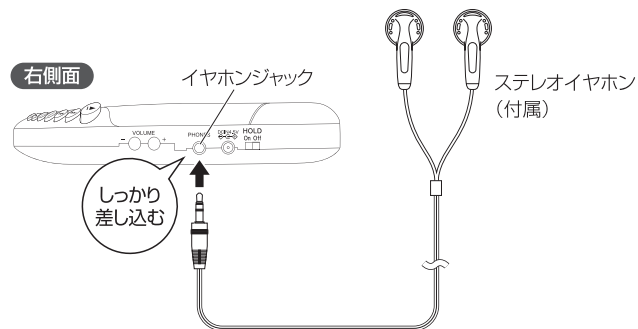
電源オン…再生/一時停止ボタンを押すと、電源が入ります(CDが正しく装着されているときは、「60 SEC」表示に続く読み込み動作の後、自動的に再生が始まります)。

電源オフ…再生停止中にもう一度停止ボタンを押すと、ディスプレイ表示が消え、電源が切れます。

オート電源オフ機能…本機は節電のため、再生停止のまま何も操作しない状態で約30秒間経くと、自動的にディスプレイ表示が消え、電源が切れます。

イヤホンの接続方法

- ステレオイヤホン(付属)のφ3.5ステレオミニプラグを、イヤホンジャックに差し込みます。
- 接続は電源が切れた状態で行なってください。電源が入ったまま行なうと誤作動の原因になります。
- プラグを抜き差しするときは、コードではなく、必ずプラグ本体を持って行なってください。断線や破損のおそれがあります。



ホールド機能について

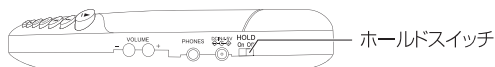
HOLD
On Off



持ち運び中などに誤って操作ボタンが押されて動作するのを防ぎます。有効にするにはホールドスイッチを「On」側にスライドさせてください。ホールド設定有効時はディスプレイに「HOLD」が表示されます。「Off」側にスライドさせると解除できます。



右側面



ESP機能について



本機は ESP (Electronic Shock Protection) 機能を装備しています。ESP 機能とは自動的に音声データを蓄え音飛びを防ぐ機能で、本機は約 60 秒間のデータを蓄えます。

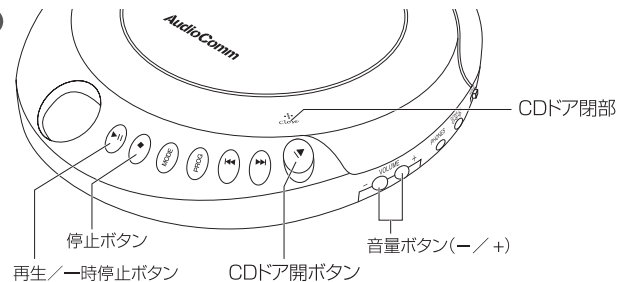
本機の ESP 機能は常時有効で、再生中は「ESP」が点滅表示されます。

- 再生当初はメモリへの蓄積が十分でないため、音飛び防止が十分に働かないことがあります。
- ESP機能が有効な場合でも、データ蓄積時間を超過して振動が続いた場合(歩行中や動いている車内など)、一時的に音が途切れることがあります。
- ESP機能はオフにできません。

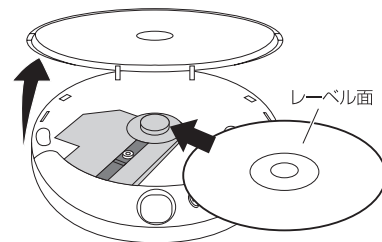
CDを聴くときは

イヤホンを接続し、音量を絞ってから操作してください。

上面



- 1 CDドア開ボタンを押して、CDドアを開けます。



- 2 レーベル面(印刷してある面)を上にしてディスクを正しくセットした後、CDドア閉部を指で押して閉めます。カチッと音がするまでしっかりと閉めてください。

- 3 再生/一時停止ボタンを押すと電源が入り、「60SEC」「――」と表示されてディスクの読み込みが始まります。読み込みが完了すると自動で再生が始まります。



- 読み込みには時間がかかることがあります。
- ディスクが入っていない場合や、汚れや破損、入れ間違い(表裏逆に装着)などにより、読み込みが完了できない場合は、「diSC」または「Er」と表示されます。
- 本機の規格に適合しないディスク(圧縮ファイルが記録されたディスクなど)の場合、読み取り動作後、ディスプレイに経過時間が表示されることがありますが、音は出ません。

- 4 音量ボタン(-/+)で音量を調節します。
 - ディスプレイに音量レベルが約1秒間表示されます(00~32)。
 - 音量の上げすぎにご注意ください。大きな音量で長時間聴き続けると、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。



音量レベル表示例

CDを聴くときは(つづき)

- 5 再生中に再生／一時停止ボタンを押すと、一時停止します(経過時間表示が点滅します)。もう一度押すと再生を再開します。



- 6 再生を止めるには、停止ボタンを押します。
停止状態では総曲数(トラック数)と総収録時間が表示されます。



- 7 終了するには、もう一度停止ボタンを押します。
ディスプレイの表示が消え、電源が切れます。

- 本機の音量設定は、電源を切るたびに初期値(音量レベル：20)にリセットされます。
- ディスクを取り出す際は、CDドアを開けた後、ディスクの回転が完全に停止したことを確認してから行なってください。回転しているディスクを押さえて無理に停止させると、故障したりディスクが傷つくおそれがあります。
- ディスクは回転軸部を上から指で押さえながら、取り外してください。
- 使い終わった後は、必ず本機からディスクを取り出してケースに保管してください。また、ほこりや汚れから内部を保護するため、ディスクを取り出した後はCDドアを必ず閉めてください。

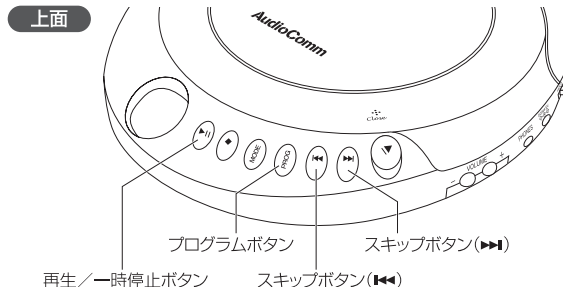
ボタン機能について

ボタン	再生中に押す	再生中に長押しする
スキップボタン (▶▶)	次の曲に移動して再生	聴いている曲が早送りされます。指を離した時点から再生を再開します。
スキップボタン (◀◀)	曲の頭に戻って再生。2回続けて押すと、ひとつ前の曲に戻って再生します。以降、押すごとに前の曲に戻って再生します。	聴いている曲が早戻しされます。指を離した時点から再生を再開します。
再生／一時停止ボタン	再生↔一時停止	
停止ボタン	再生を停止(もう一度押すと電源が切れます)	

※早送り、早戻し時は経過時間表示を見ながら操作してください。

プログラム再生

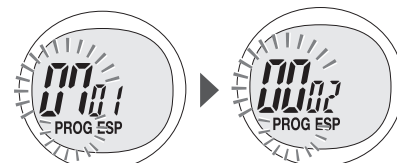
本機では最大20曲までお好きな順番で曲を再生することができます。



- 1 プログラムボタンを押します。
「PROG」と曲番号、曲順番が表示され、そのうち「PROG」と曲番号が点滅します。



- 2 スキップボタン(◀◀/▶▶)で最初に登録したい曲番号を選び、プログラムボタンを押します。



- 3 ステップ2と同様の手順で2番目以降の曲を登録していきます。

- 4 再生／一時停止ボタンを押すと、プログラム再生が始まります。
プログラム再生中は「PROG」が表示されます。

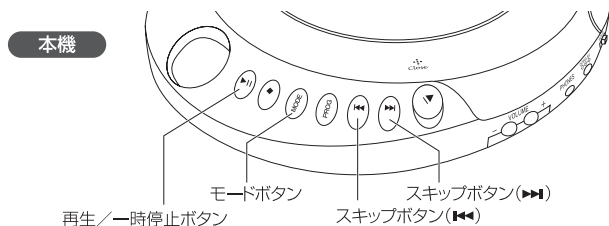


- 再生中にプログラム登録を行うことも可能です。その場合、登録後に再生／一時停止ボタンを押すと、聴いている曲をスキップしてプログラム再生が始まります。
- プログラム再生中に停止ボタンを2回押し電源を切ると、プログラム内容は消去されます。

CDを聴くときは(つづき)

1 曲リピート・全曲リピート・イントロ再生・ランダム再生

モードボタンを押すたびに、様々な再生方法を選ぶことができます。



モードボタンを1回押す 1 曲リピート

聴いている曲を繰り返し再生します。

- 一時停止中または停止中に1曲リピートを選んだ場合は、スキップボタン(◀◀/▶▶)で曲番号を選び、再生／一時停止ボタンを押して再生を始めてください。



1曲リピート中はディスプレイに「1」が表示されます。

モードボタンを2回押す 全曲リピート

CD内の全曲を繰り返し再生します。

- 再生中に全曲リピートを選んだ場合は、そのまま全曲を繰り返し再生します。
- 一時停止中または停止中に全曲リピートを選んだ場合は、再生／一時停止ボタンを押して再生を始めてください。



全曲リピート中はディスプレイに「ALL」が表示されます。

モードボタンを3回押す イントロ再生

CD内の曲を最初の10秒ずつスキップしながら再生します。

- 停止中にイントロ再生を選んだ場合は、再生／一時停止ボタンを押すとイントロ再生が始まります。
- 一時停止中にイントロ再生を選んだ場合は、再生／一時停止ボタンを1回押すと1曲目に戻って一時停止状態になります。その後、さらに再生／一時停止ボタンを押すと、1曲目からイントロ再生が始まります。
- 再生中にイントロ再生を選んだ場合は、聴いている曲を最後まで再生し、次の曲からイントロ再生が始まります。



イントロ再生中はディスプレイに「INTRO」が表示されます。また、「INTRO」が点滅している場合は、再生中または一時停止中にイントロ再生を選んだため、待機中であることを示しています。

モードボタンを4回押す ランダム再生

CD内の曲をランダムに再生します。

- 再生中にランダム再生を選んだ場合は、聴いている曲をそのまま最後まで再生し、次の曲からランダム再生が始まります。
- 停止中にランダム再生を選んだ場合は、再生／一時停止ボタンを押してランダム再生を始めてください。
- 一時停止中にランダム再生を選んだ場合は、ランダムに選ばれた曲の一時停止状態になります。再生／一時停止ボタンを押してランダム再生を始めてください。



ランダム再生中はディスプレイに「RND」が表示されます。

- 1曲リピートや全曲リピート、イントロ再生、ランダム再生を解除するには、ディスプレイの各マークがすべて消えるまで、モードボタンを数回押してください。

お手入れのしかた

お手入れの前に必ず電源を切り、乾電池を取り外してください。また、ACアダプター使用時はDC IN端子に接続されているプラグも抜いてください。

●キャビネットのお手入れ

本体の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。

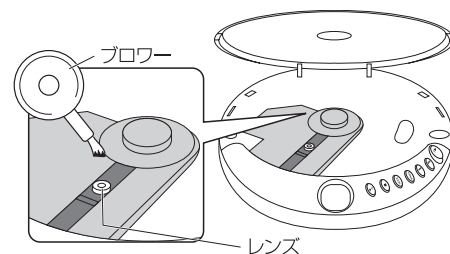


シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しない

●レンズ部のクリーニング

レンズの汚れは、音飛びなど正常な再生ができなくなる原因になります。CDドアを開け、図のようにレンズをクリーニングしてください。

- ・市販のクリーニングキットのレンズ用ブローワーを使って、ほこりやゴミなどをはき出してください。
- ・万一指紋などがついていない場合は、市販のレンズクリーナーをお使いください。



故障かなと思ったら

電源が入らない	●乾電池が入っていますか ●乾電池の向きは正しいですか ●乾電池が消耗していませんか ●(ACアダプター使用時)ACアダプターは本機及び家庭用コンセントにしっかりと接続されていますか
再生が始まらない	●CDドアがしっかりと閉まっていますか ●本機の規格に合わないディスクが入っていませんか ●ディスクが裏返しに入っていませんか ●レンズがひどく汚れていませんか ●一時停止状態になっていませんか ●結露していませんか ●ホールドスイッチがオンになっていませんか
CD-R / RWの再生ができない	●収録した曲は本機の規格に合ったファイル形式ですか ●正しくファイナライズ処理したディスクをお使いですか
音が出ない	●イヤホンのプラグがしっかりと差し込まれていますか ●音量が最小になっていませんか
音飛びがする	●レンズが汚れていませんか ●ディスクに傷があったり、ひどく汚れていませんか ●強い衝撃や振動のある場所で再生していませんか
正常な表示や動作をしない	●乾電池が消耗していませんか

主な仕様

電源	DC3V 単3形アルカリ乾電池×2本(別売) ACアダプター定格 DC4.5V 500mA  (別売)
出力端子	イヤホン出力(φ3.5mmステレオミニプラグ)
最大出力レベル	15mW+15mW
対応フォーマット	CD-DA
使用時間の目安	アルカリ乾電池使用時：約8時間 (中程度の音量にて使用時の目安です。使用状況により異なります)
外形寸法	幅134.3×高さ26.5×奥行148mm
質量	約175g(乾電池・付属品含まず)
付属品	ステレオイヤホン、保証書付取扱説明書

※仕様及び外観は予告なく変更することがあります。

※この取扱説明書で使用しているイラストは、実際の製品と一部異なる場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。